

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール(大樹の家)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理念をリビングに掲示して、職員に周知できるよう意識づけを図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策のため、地域との交流の機会をもてていない。	ドライブを兼ねて地域での催し物等あれば車から見に行く。 人数を制限して行く。 人が少ない公園へ行く。 自宅や生家周辺をドライブする。 満倉の川も綺麗になっている。 ディサービスが詳しく知っているので、聞いてみるのもいいと思う。 ひまわりやコスモスの時期には見に行く。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2月毎に、ご家族代表・地域の方、民生児童委員をメンバーとして、運営推進会議を開催。活動内容を報告したり、サービス向上にむけての意見等いただいていたが、コロナ感染拡大予防のため、職員のみで行い、書面での報告が多くなった。	書面上での報告が多いですが内容は伝わりますか→他の事業所と比べて書いている方(役場)十分わかると思います。 集まれないのは仕方ない。 機関誌を見て暮らしぶりが分かり、感謝しています。(ご家族)		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に高齢者支援課職員の出席により、取り組みについての助言等や指導等いただいている。困りごとがあればすぐに担当者に相談している。	以前はグループホームでの集まりがあったが、コロナ感染予防のため、現在は集まれない。情報交換が出来ていない。→リモートで交流するのがよいのではないかと考えていかないといけない。色々な方法での開催を考えていく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内の会議、身体拘束・虐待防止委員会、法人の職場内研修会にて学習の機会を持ち、禁止事項の理解・予防に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の方々の状態を職員間で理解されているようで、行動規制など拘束に繋がらない対応が適切になされていると思います。 学ぶ機会について法人内、外で研修等おこなっているのでしょうか。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	威圧的な言葉や態度、行動抑制等も含め、職員会議や身体拘束・虐待防止委員会でも話し合い検討しながらケアに当たっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病状で発語しにくくなっていても、一方的でなくコミュニケーションをとりながら、本人の表情をくみ取り、気持ちを尊重する姿勢が職員間で共有されていると思います。 学ぶ機会について法人内、外で研修等おこなっているのでしょうか。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体での職員研修会に参加し、繰り返し学んできた。実際に成年後見制度を利用されている方もいて、後見人と話し、話し合う機会もある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時、十分な説明に努め、理解・了承を得て締結している。また、改定時にも文章の配布や口頭説明により、同意・了承を得ている。随時、ご家族からの問い合わせがあれば、適正に答えられるよう努めている。解約時も同様に十分な説明に努めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話連絡や面会時、ご家族から要望があれば、管理者・職員間で情報共有している。外部評価時にはご家族へアンケート用紙を配布し、郵送にて直接評価機関へ送付。率直な意見をいただき、運営への反映ができるよう努めた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気になることや、相談など管理者へ報告してくださっています。見直したことなど、報告もあり、意見の反映に取り組んでおられると思います。 あまりできていないと感じる点はどこでしょうか。 今後、外部評価機関へありのままの意見を送付することがなくなる点については別な形で何かおこなうのでしょうか。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での会議や日常のコミュニケーション内にて、管理者が意見を取りまとめ、必要な事項については、管理者会議で報告・相談し、その過程や結果を持ち帰り、職員に伝達しているのみであり、反映までには至っていない。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防もあり、代表者はあまりホームへは来ないが、管理者からの報告や人事考課・面談にて状況の把握に努めている。また、折々職場環境等について、働き方改革委員会や衛生委員会が開催されたり、職員に対し聞き取りやアンケートも行われている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防体制の継続で苦慮されていると思いますが、管理者を通して代表者(施設長等)に報告していただき、親切で適切な指示をしていただけていることが家族にも伝わっています。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防のため、外部研修よりも、職場内での研修やOJTによる学習を重視して、学習機会が提供されている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会が十分できない環境の中でも、家族の配慮をしていただきながら、職員の皆さんの感染予防の取り組みが統一して行われていると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域のコミュニティを利用して他ホームとの交流を行っていたが、コロナ禍により現在は活動できていない。研修や勉強会等リモートを活用している。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、ADLに応じてできる事をアセスメントし、お手伝いや趣味活動をしていただくことでやりがいを感じ、ホームの住人として居場所があると安心していただいている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防のため、面会、外出に制限はあるが、窓越し面会やリモート面会、電話を活用して交流し、関係性が継続できている。毎月の法人の機関誌を発行し、日常のひとコマを掲載しコメントを書いて送付し、安心していただいている。	ほぼできている状態なので、継続して支援をおこなっていく。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴、ご家族の情報のアセスメントや、日頃のご本人との会話、様子からも思いや意向を読み取れるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人・ご家族の意向を伺い、職員間で情報共有しながら個々の状態に応じたケアを相談・検討し、ケアプラン作成がされている。	ご家族の意向確認はしているのでしょうか。→ご家族の意向を面会時や電話で確認している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び、家族の気持ちを十分にくみ取っていただきながら、職員間でも検討していただき、寝たきりになってでもできること、自立に視点を置いた計画書を作成していただいています。 ご家族の意向はコロナ渦なので、電話等で聞き取りしているのでしょうか。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子や気づいたことについて、ケース記録・モニタリング、日誌への記載や口頭にて伝達・情報共有している。また、毎月の会議時、入居者の状態について報告し、対応について相談もしている。		B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調変化に合わせて家族への報告、相談の結果の対応内容などを職員間できちんと共有されていると思います。家族への相談や対応結果なども細やかに連絡、報告をいただけます。またよくなった点や改善した点なども報告いただいています。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のニーズや状況に応じて対応できるよう、会議等で検討している。	職員会議を月に一回行い、個人のことを検討している。 本人の視点で捉え「できることの視点」で考える。何をしたいのか、何をしてもらいたいのかアセスメントが必要。 食事についても本人は自分が食べたいものに挑戦した。自分たちが決めつけるのではなく、自己主張はある。 ドライブも漠然と行くのではなく本人に確認することが大切。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ある程度関係性の把握に努めているが、感染症予防もあり、ここ2年間については活用には至っていない。	19と同じような内容ですが、できることを支援していく。地域資源と言っても幅広くあり、その人にとって必要な地域資源を考えていく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族にかかりつけ医の希望を確認している。受診はご家族対応が基本のため、状態報告を行い、医療機関・ご家族と適切な連携を図っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族・医療機関と連携しながら必要な情報を提供している。入院中は定期的に医療機関と連絡を取り、状態の確認をし、退院前は医療機関におけるカンファレンスに参加し情報を得ることで退院後に備えている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	退院時のカンファレンスにも参加していただき、その後の過ごし方も施設長を含めて検討していただきました。日々状態に合わせて主治医と細やかに連絡をとっていただき、適切な医療対応をさせていただいています。報告もその都度いただけて、家族としては心強いです。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に重度化した場合の対応の確認をし、重症化した際にもご本人・ご家族の意向を確認して、できるだけそれに沿い、安心して過ごしていただけるよう努めている。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員尾皆様には負担をおかけしますが、病院ではなくGHで看取りをお願いしたい家族の想いをくみ取っていただき、職員皆さんが丁寧に対応していただけていると感じています。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議や安心マニュアルにて急変時等対応の学習の機会はあるが、実際となると職員にも個人差があり、適切な対応と職員間の連携、分担は図れていない。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での災害想定避難訓練は年2回行われているが、職員の入れ替わりもあり、まだ全員が避難方法を把握しているとは言い難い。	来月は避難訓練の実施予定であり、まだ訓練に参加していない職員を対象におこなう。大雨の時も砂防ダムが完成したので、心配がなくなった。今回の台風もなんとなかった。災害時の優先順位の判断の訓練を踏まえおこなう。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設環境から、想定される災害による被害を最小に抑えるためには訓練が必要だと思いますが、利用者の安全も大切ですが、利用者を優先するあまり、職員の皆さんが犠牲にならないことが大切だと思うので、災害時の優先順位の判断の訓練はしていただけたらと思います。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに配慮した声かけ、対応に気をつけているが、時には感情が表に出てきつい言い方や不快な思いをしたのではと反省することがある。相手の立場に立った対応に努めていく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭のような環境の中で生活し合い、気分にも波があつて当たり前だと思います。基本姿勢として、病状や生活歴などを顧みながら理解し、尊重した対応をしていただけていると思います。反省した場面等があった時は、職員間で共有したりするのでしょうか。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のアセスメントを基に、ご本人の話や表情・仕草からも思いを読み取りながら対応するよう気をつけている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理の様子を見ながら、味見をお願いしたり、テーブル拭き等後片付けやお手伝いの出来ることをしていただいている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の嗜好も理解し、病状と身体状況に合わせて食事介助などしていただき、少しでも美味しく口から食べることを大切にいただいています。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の管理栄養士が立てた献立で、個々の好み、食形態、量を職員間で情報共有しながら工夫し提供している。また、水分も、食事・間食時以外にも、起床時や日中・夜間希望時には飲んでいただき、一日の必要量が摂取できるよう努めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別アセスメントを作成し、口腔内の状態の情報を共有し、個々の状態に合わせた口腔ケアの声かけ・支援をしている。場合によっては、歯科受診をし、義歯調整や歯石除去等行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	義歯もないですが、口腔内の状態にも気を配るなど、毎日職員の皆さんが口腔ケアに力を入れてくださっています。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄時間を記録し、排泄パターンの把握、必要な方には早目の声かけや介助にてトイレでの排泄支援に気をつけている。また、個々人の既往歴や排泄状態・体調を把握し、十分な食事や水分、お通じに良い食べ物の提供、適切な下剤の使用等にて便秘の予防・解消を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、紙おむつの使用の状態ですが、おむつ交換時には声かけしながら行ってもらっており、本人にも意識するような働きかけをしてくださっています。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	曜日・時間帯はどうしても決まっていますが、ご本人の希望や気分に合わせて、日や時間をずらす等工夫をしている。入浴時は、個々の状態に合わせてゆっくりと本人のペースで入浴していただけるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の習慣やその日の状態、天候等も考え、ご本人の体調に響かないよう適宜休息をとっていただいている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤情報表を個々人のファイルに綴じ、すぐに確認できる状態にしている。この病歴、使用中の薬剤を把握するように努め、誤薬のないよう、決められた手順で服薬介助を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医の指示に合わせて(嚥下の状態に合わせて誤嚥しないよう)適切な内服介助をいただいています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のアセスメントに基づいて、趣味活動やお手伝い等、ご本人が快く感じられる事の支援に努めている。	お手伝い、写経、習字などの趣味活動を出来る範囲でしていただく。 作品づくりもできる人、できない人がいるので職員ができる所まで準備して、本人に合わせておこなっている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症予防のため、外出支援は中止している。解除時には、町内へコスモス見物にドライブに行ったりした。	地域での催し物の情報をキャッチし、ドライブ等の支援をおこなう。 本人の希望する場所へ行き、喜んでいただく。		

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が遠方である方のみ、金銭を事務所預かりしているが、ご本人が自分で金銭を所持し、支払い等行うことはなく、支援するに至っていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望時、ご家族へ電話での交流支援を行っているが、希望をされることがほとんどなく、用事で先方からかかってきた時や職員がかけた時に声をかけ、ご本人とも通話をさせていただいている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の作品や季節感を持った飾りつけを行い、季節の移り変わりを楽しんでもらっている。安全面にも配慮し、障害となる物は置かず、自由に行き来できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	寝たきりでもさみしくないよう職員の方が、ぬいぐるみを置いてくださるなど、配慮していただいています。

**IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)**

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子を観察し、その時々のおもいに寄り添えるよう努めている。家への思いが強ければ、ご家族との通話や面会をお願いしたり、散歩等で気分転換していただけるよう支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人、ご家族からアセスメントし、職員間で情報共有、話し合いしながら支援を行っている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のバイタルチェックやボディチェック、様子観察に気をつけ、状態に変化が見られる時は、ご家族とかかりつけ医・医療機関と連携し、早目の対応を心がけている。		B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日細やかにチェックしていただき、状態変化があるときは、職員間で共有し主治医へ報告、指示を受けるなど、早い対応をしていただいています。家族にもきちんと丁寧な状況報告をいただいています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴等のアセスメントに加え、ホームでの共同生活で他入居者と交流を持ちながら、それぞれのルーティーンやペースでの暮らし方ができているのを支援している。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思い出の写真や趣味活動の物品・作品、ご家族からのプレゼント等、愛着の持てる物を居室に飾ったり、大切に保管している。また、テレビを持参し、好きな番組を楽しまれている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族が届けたものなどを職員の方が伝えながら着せていただいたり、食べさせていただいたり、家族からの話を伝えていただくなど、本人の心に届く声かけやお話をさせていただいていると思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓓ. ほとんどできていない	コロナ禍により、通院以外に戸外に出ることはほとんどない。	できるだけ少人数で戸外へ出掛け気分転換をする。 町内での催し物の情報を入手する。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物たたみや洗濯物干し、テーブル拭き等のお手伝いや好きな趣味を続けることで、それぞれに楽しんでいただいている。できなくても、できるところまで職員が手伝い、自分でしたという達成感をもってもらえるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの人生の中での絶頂期(仕事や学生の頃、子育て時等)の話をする時は生き生きとした表情であり、楽しそうに会話が弾んでいる。日課となっているラジオ体操や口腔体操は自主的にできる範囲で行っている。		A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の家族や環境を少しでも知っている職員の方を中心に話をさせていただけることで、本人は楽しただけでなく、安心できていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ⓐ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、地域の方との関わりを持つ機会は提供できなかった。職員との馴染みの関係や信頼関係を築くことで、安心・安全な生活を送っていただいていると思っている。	以前は知人や友達が尋ねて来て、お誕生日に花をプレゼントしてもらったりお話を楽しんでいたが、今はコロナ禍で面会のみとなっている。ケーブルテレビで地域の情報も分かり、知っている人や地元の人が出たりするため、皆で楽しむと良いと思う。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の協力を得ながら、ご本人の思いを実現できるよう工夫しながら、馴染みの環境になるよう整えている。	すごく細かいところまで、気をつけてもらっていて安心しています。(ご家族) 皆さんが皆さん満足してもらっているかと言われるば、必ずしもそうではないと思うので、以前のようにご家族へアンケートを取り、意見を反映できるようにしたい。 契約時の時にホーム内の写真や動画を撮り、見ていただく。またリモート面会時にもお部屋の様子やリビング等周りの様子を見ていただく。	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と連絡を取り合い、状況を共有することで、本人の気持ちを理解し、寄り添う姿勢でかかわっていただけていると思います。退院時、看取りに近い状態で受け入れてくださった職員の皆様の負担は大きいと思いましたが、家族の想いをくみ取り、主治医の先生も丁寧に対応していただきながら、職員の皆様が大切に介護をしてくださったことで、今の状態まで回復できたことは、家族としては本当に嬉しく思っています。残りの日々は少ないかもしれませんが、本人に寄り添い見守ってくださる皆様に感謝です。

